

提出された意見等の概要とこれに対する考え方

案件名 : 兵庫県地域創生戦略(2020~2024) [素案]

意見募集期間 : 令和2年1月14日~令和2年1月27日

意見等の提出件数 : 34件(20人)

※ ①意見を反映(一部反映含む)3件、②盛り込み済み19件、③今後の参考9件、④対応困難1件、⑤その他2件

	項目	意見等の概要	数	区分	県の考え方
1	全体	多様な価値観を持つ誰もが生きやすい社会を、多様な地域性を持つ兵庫で実現していけたら良い。	1	〔既に盛り込み済〕	ご意見のとおり、五国の多様性を活かし、一人ひとりが望む働き方や質の高い暮らしが実現できる兵庫をつくることを基本理念に、施策を展開していきます(本文P7)。
2	全体	広い兵庫県を一つの戦略、目標で各地域を同様に元気にしていくのは難しいのではないかと。	1	〔既に盛り込み済〕	本戦略では、全県的な施策に加え、兵庫の多様性を活かし、地域の個性や強みを活かした地域の未来づくりとして、行政圏域を越えた広域的かつ先進的な地域プロジェクト・モデルとして8つの事例を示しています。県内各地域で地域資源や特性を活かした施策を展開していきます(本文P48)。
3	全体	分野が多岐にわたり量もかなり多い。「5年後、10年後に兵庫県が悲惨な状態になるので、今から順番に対策をしていかないといけない」という説明の方がわかりやすい。	1	〔意見を反映〕	ご意見を踏まえ、アクション・プランにおいて、大学生の定着・促進や婚姻数、出生数の増加等、喫緊の課題に対する施策をパッケージ化し、重点的に推進します。
4	全体	国レベルでは、地方創生におけるSDGsの推進を提唱している。この点からもSDGsに関する何らかの標記が必要であると考えている。	1	〔今後の検討・実参考〕	地域創生戦略は、人口が減少しても地域の活力を維持し、一人ひとりが将来に希望が持てる社会をつくることを目指しており、その意味ではSDGsの理念が戦略に含まれていると認識しております。今後もSDGsの理念を踏まえつつ、施策を推進していきます。
5	全体	施策にもっとメリハリをつけ、①持続可能性の高い大都市圏や準大都市圏に、②持続可能性に対する寄与が高い女性や若者を対象にした取組や施策を重点的に実施すべきである。	1	〔今後の検討・実参考〕	ご意見を踏まえ、アクション・プランにおいて、大学生の定着・促進や婚姻数、出生数の増加等、喫緊の課題に対する施策をプロジェクト化し、重点的に推進することを検討します。あわせて、地域の強みを活かした地域プロジェクト・モデルを推進することにより、相乗的な施策展開を図っていきます。

	項目	意見等の概要	数	区分	県の考え方
6	地域の元づくり	<p>少子高齢化で経営者が高齢化し、後継者がいない現状では、M&Aで事業承継に力を入れなければ中小企業・小規模事業者の廃業が益々増える。</p> <p>日本では、中小企業の割合が多いので、M&Aで企業の規模を大きくして生産性を向上することで、働き方改革を行う傾向にある。地方におけるM&Aは、慎重に行わなければならない。</p>	1	〔既に盛り込み済〕	<p>中小企業の後継者不足は、大きな課題と認識しています。本県では、昨年度から、商工会・商工会議所等と連携した事業承継支援事業を展開しており、今後もM&Aを含め、ニーズに即した支援に取り組んでいきます（本文P19）。</p>
7	地域の元づくり	<p>兵庫県は事業者の気持ちを理解し積極的且つ有効な支援をしてくれる県だというイメージがあれば良い。</p>	1	〔意見を反映〕	<p>ご意見を踏まえ、項目名を「起業・創業の適地ひょうごの実現」と修正しました。ご意見を踏まえ、本県の起業環境のアピールにつながるよう、今後とも、制度・成果の発信に取り組んでいきます（本文P20）。</p>
8	地域の元づくり	<p>地方で起業を増やすことが良い。ただ日本では金融が投資でなく融資の形態で、担保主義保証制度から事業性評価制度への変革をさらに進めてほしい。</p>	1	〔既に盛り込み済〕	<p>本県では、多様な主体による起業支援から、投資家・金融機関と連携した有望起業家の成長支援まで、幅広い支援に取り組んでいます。今後、ファンドの組成等、初期段階の起業家に必要な金融支援の充実に取り組んでいきます（本文P20）。</p>
9	地域の元づくり	<p>兵庫県のホテル有名サイトの上位に上がらないような農林水産業、窯業、伝統工芸その他体験型民宿について、民泊PR紹介、予約サイトを作成依頼し、兵庫県ホームページにアップ、更新されては如何か。広告料を兵庫県の収益化するか、神戸新聞等に委託、リンクを張り付けては如何か。</p>	1	〔既に盛り込み済〕	<p>兵庫県の公式観光サイト「HYOGO!ナビ」では、農業体験や陶芸体験などの体験型ツアーを紹介しているほか、宿泊施設の情報等を掲載しています。今後とも、兵庫の地域資源を活かしたコンテンツの開発や、テーマ性を持ったプロモーション等を展開していきます（本文P23）。</p>
10	地域の元づくり	<p>広域観光については、行政の縦割りを解消することが必要。近隣行政と連携する仕組みを構築すること。</p>	1	〔既に盛り込み済〕	<p>本県では、ひょうご観光本部が、せとうちDMO、関西観光本部など広域DMOはもとより、岡山等近隣府県と連携しており、広域観光周遊ルートの形成等を促進しています（本文P23）。</p>

	項目	意見等の概要	数	区分	県の考え方
11	地域の 元づくり	関係人口については、もう少し踏み込んだ記載もあってはいいのではないか。現在は地域には住んでいないのだけれど、地域には関心を持っている出身者にもっとスポットを当てることはできないのか。	1	〔既に 盛り込み済〕	兵庫を離れても、ふるさとへの愛着や関心を持つ人々が関係人口として活躍してもらうことが重要だと認識しています。 このため、兵庫に縁のある人に登録してもらう「ひょうごe-県民制度」を活用した県内地域情報の発信や、二地域居住・都市農村交流等を促進していきます。（本文P24）
12	地域の 元づくり	文化的な価値が高いというブランディングの視点を入れたい。また、文化的な活動の拠点が必要。	1	〔既に 盛り込み済〕	地域に人を呼び込むためには、芸術や文化力がある地域づくりが必要だと認識しております。このため、重点目標3として、「豊かな文化が息づき、安全安心でにぎわいあふれる兵庫をつくる」を設定しました。県立芸術文化センターなど、兵庫にある芸術文化施設を活用した取組を進めていきます（本文P27、P28）。
13	地域の 元づくり	大学卒業以降の兵庫県への定着率の増加のためには、高等教育における「兵庫県民意識」の醸成にある。 「国際交流」や「異文化体験」を通して「兵庫県の良さ」を体感させるようになれば良い。	1	〔既に 盛り込み済〕	「大学コンソーシアムひょうご神戸」では、留学生と日本学生との交流や海外への派遣等を実施するなど、国際交流や異文化体験の取組を進めております。今後とも、大学間等の連携により、兵庫の良さを知る取組を推進していきます（本文P31）。
14	地域の 元づくり	技能実習生や留学生として来日する日本国中にいる多くの外国人労働者の個々のトラブルに、弁護士以外の第三者が法的にも物理的にも支援することは困難。また、日本人と結婚、入籍は出来るが在留資格の変更が簡単では無い。	1	〔既に 盛り込み済〕	国籍を問わず全ての県民が地域の構成員として支え合い、安全安心な生活が送れるよう、生活相談や外国人の雇用に関する相談体制の充実、外国人県民の社会活動の支援等、多文化共生を進めていきます（本文P32、P38）。
15	地域の 元づくり	単なる労働力ではなく、地域社会の構成員として迎え、多様な文化に触れたり、互いの生活を知る機会を設け、多文化共生の機運を醸成することが重要。	1	〔既に 盛り込み済〕	国籍を問わず全ての県民が地域の構成員として支え合い、安全安心な生活が送れるよう、生活相談や外国人の雇用に関する相談体制の充実、外国人県民の社会活動の支援等、多文化共生を進めていきます（本文P32、P38）。

	項目	意見等の概要	数	区分	県の考え方
16	地域の元づくり	教育力の指標が未定のため、自己効力感や自己肯定感の指標があるといい。	1	〔今後の検討・実施の参考〕	教育力の指標につきましては、「CEFR A1レベル相当以上（英検準2級～3級相当）の英語力を有すると思われる中学3年生の割合」「CEFR A2レベル相当以上（英検2級～準2級相当）の英語力を有すると思われる中学3年生の割合」「高校の魅力・特色を高校選択の理由にした生徒の割合」「学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合」を設定しました。施策の推進を通じて子どもたちの自己効力感を高めていきます（本文P34）。
17	地域の元づくり	「革新的技術」について、「地域プロジェクト・モデル」に盛り込めないか。	1	〔今後の検討・実施の参考〕	人口減少下においても地域生活を維持するためには、革新的技術の普及促進は必要だと考えています。今後も、革新的技術の実証実験については、地域プロジェクトの中で必要に応じて検討していきます。
18	地域の元づくり	ICTを使った検知によってハラスメントがもっとも少ない県にしたい。	1	〔今後の検討・実施の参考〕	働き方改革を進めるうえで、ハラスメント対策は必要だと認識しています。地域への革新的技術の普及促進に当たっては、ハラスメント対策を含め、幅広い分野で導入促進を検討していきます。
19	地域の元づくり	障害者の就労支援も大事だが、障害児の教育についても対策を検討してほしい。	1	〔今後の検討・実施の参考〕	ユニバーサル社会の実現に向けて、就労支援や社会参加はもとより、障害がある児童生徒が、教育が受けられるための環境づくりに取り組んでいます。引き続き、幅広い分野で障害者施策を推進していきます。
20	地域の元づくり	首都圏の企業に聞き取り調査して交通インフラ、5G通信インフラ、その他の要望を兵庫で実現をして頂きたい。	1	〔今後の検討・実施の参考〕	本県では、兵庫県ビジネスサポートセンター・東京を設置し、用地や相談対応などワンストップで企業立地を支援しています。交通アクセスの良さと情報通信環境等、兵庫の優れた立地優位性を更に高め、アピールしていきます。

	項目	意見等の概要	数	区分	県の考え方
21	地域の元気づくり	外国人に税金と労力を費やすより納税者である日本人の兵庫県民へのサービス、職員の給与、ボーナスに費やした方が皆様の余計な仕事が減り得策と思う。(親日の外国人なら良い。)	1	〔対応困難〕	国籍を問わず全ての県民が、共に地域の構成員として支え合い、安全・安心な生活を送れる多文化共生社会の実現を目指し、取組を進めております。 今後も、情報通信やデータサイエンス、介護など人材が不足している分野への外国人材の受け入れや、高度な知識や技能を持つ留学生の県内定着を促進していきます。
22	地域の元気づくり	教育費、学費を完全無償化すれば人口は増加すると思う。	1	〔その他〕	本県では、国の制度に加え、独自の教育費負担の軽減措置を実施しています。教育費・学費の完全無償化については全国一律に実施すべきと考えており、国の動向を注視していきます。
23	社会増対策	女性の定着には、新卒の若年女性、子育て中の母親、管理職の女性など、様々な立場で活躍し続けられる仕事が必要。兵庫県内に、そんな企業がどれだけ存在しているのか。女性の定着を本気で進めるなら、この点を明らかにしたうえで必要な対策を打つべき。	1	〔既に盛り込み済〕	女性の定着は、本県の地域創生の大きな課題だと認識しています。 このため、社会増対策に「女性活躍の推進」の柱を立てました。 若年女性の就職希望を踏まえた雇用の場の創出や、結婚・子育て等ライフステージに即した柔軟な働き方の促進等、企業の女性活躍に関する取組の支援を支援することで、女性が活躍できる環境整備に取り組めます(本文P37)。
24	社会増対策	若い人に地元の良さを伝えることが地元に戻ってくるきっかけになると思う。	1	〔既に盛り込み済〕	ふるさとの魅力を再発見する教育の推進や、ひょうごe-県民制度を活用した、大学キャリアセンター等の連携によるUJIターン情報の発信など、地元の良さを伝える取組を推進していきます(本文P37、P38)。
25	社会増対策	行政と協力し地域に特定技能ビザの資格で海外からの人材を招聘し、そのパワーを農業支援やその地域で必要とされる業種に活用すれば、地域経済を活性化し、地方創生の起爆剤となる。	1	〔既に盛り込み済〕	本県は、これまでから介護等、人材が不足している分野への外国人材の受け入れを推進しており、今後も高度外国人材の受け入れを促進していきます。(P. 38)

	項目	意見等の概要	数	区分	県の考え方
26	社会増対策	入管法改正で外国人労働者を島国日本に受け入れる移民政策が必要。	1	〔その他〕	今般の入管法改正において、新たに「特定技能」が追加されたところです。今後、「移民政策」をとるかについては、国民的な議論が必要だと考えております。
27	自然増対策（子ども・子育て対策）	地域の元気づくりや社会増の記載が多いが、やはり結婚支援が大切だ。県の出会いサポートセンターは県内各地で長年運営されているが、結婚適齢期の若者のニーズに答えられているのか。女性に人気のゼクシィなど民間の婚活支援も参考にして、新たな観点から目に見える成果を出していく時期にあるのではないか。	1	〔既に盛り込み済〕	結婚したいという願いを叶えるため、民間結婚相談所等との連携や、スマートフォンを用いた婚活への対応等、「ひょうご出会いサポートセンター」の会員拡大とマッチング強化等に取り組んでいきます（本文P41）。
28	自然増対策（子ども・子育て対策）	人口の絶対量を増やすには少子化対策が不可欠なので、結婚支援に力点を置くのは良い。一方、結婚する気がある人の出会い支援もさることながら、若者を結婚する気にさせる対策が手薄ではないか。行政が個人の領域に入り込むのは困難とは思いますが、短期的に解決できない課題だけに思い切った対策を盛り込んでほしい。	1	〔既に盛り込み済〕	若者を結婚する気にさせる対策は必要な点だと考えております。このため、企業との連携による多彩な出会いの機会の創出など、出会い・結婚支援の充実に取り組んでいきます（本文P41）。
29	自然増対策（健康長寿対策）	「生活習慣の改善促進」について主な施策に、禁煙支援及び受動喫煙防止の推進を加えてほしい。例えば滋賀県は、喫煙率の低さが長寿の要因であることが分析結果で示唆されている。禁煙支援は禁煙外来の受診料を県が一部負担するなどが考えられる。	1	〔意見を反映〕	ご意見を踏まえ、「疾病の早期発見・早期治療の推進」の主な施策として、「子ども・妊産婦等の受動喫煙防止対策の推進や禁煙支援の実施」を記載いたしました（本文P45）。
30	地域プロジェクト・モデル	ありきたりの企業誘致や観光客誘致だけでなく、新たな切り口で地域ごとの賑わいをつくろうとする地域プロジェクトモデルは面白いと感じる。兵庫県で生活している楽しいと多くの人を感じられるようなまちづくりに力を入れてもらいたい。	1	〔既に盛り込み済〕	本戦略では、全県的な施策に加え、兵庫の多様性を活かし、地域の個性や強みを活かした地域の未来づくりとして、行政圏域を越えた広域的かつ先進的な地域プロジェクト・モデルとして7つの事例を示しています。県内各地域で地域資源や特性を活かした施策を展開していきます（本文P48）。

	項目	意見等の概要	数	区分	県の考え方
31	地域プロジェクト・モデル	地域創生戦略素案の地域プロジェクトは地域の将来像が示されていてとてもわかりやすいと感じる。神戸・阪神間を令和の交流拠点とするためにも、国際的にベイエリアの大交流プロジェクトとともに、住宅街の暮らしのプロジェクトに取り組んで頂きたい。	1	〔既に盛り込み済〕	阪神・淡路大交流プロジェクトでは、関西国際空港や高速道路網等の交流基盤を活かし、ベイエリアを製造業の集積エリアから、集客・交流エリアとして発展させるため、滞在集客施設やMICE機能の集積などに取り組んでいきます。こうした取組を通じて、市街地のリノベーションによる商業業務機能の集積や、芸術文化、医療、教育を充実させることで、若者の定着・環流を促進していきます（本文P48）。
32	地域プロジェクト・モデル	都道府県が人口を取り合うのではなく、それぞれの自治体が地域の将来像を明らかにし、民間企業や大学・研究機関と連携して迅速かつ集中的に施策を展開することが必要ではないか。地域プロジェクト・モデルは、この意味でも期待が持てる。実行あるものにしていただければと思う。	1	〔今後の検討・実施の参考〕	ご意見を踏まえ、地域プロジェクト・モデルの推進に当たっては、行政、企業、大学等の連携による「プロジェクトチーム」により、官民協働で事業実施を進めていくことを検討していきます。
33	戦略の推進体制	「地方分権」の実現が不可欠。財源と権限を地方が持つことをまず進めなければならない。	1	〔既に盛り込み済〕	地域創生の実現には、地方のことは地方自らの判断と権限、財源で取り組める地方分権型に転換することが必要です。全国知事会や県6団体、関西広域連合等と連携して、引き続き、地方分権の実現を国に求めていきます（P60）。
34	戦略の推進体制	男女共同参画社会の先進国に働き方改革の参考のために視察に行つて、県下の企業に薦めることや、レジャー産業活性化、リゾート地化のために政策視察旅行に行かれて議論研究したらどうか。	1	〔今後の検討・実施の参考〕	ご意見を踏まえ、施策の推進に当たっては、先進事例も参考にしながら、行政、企業、金融機関、大学、メディア等が一体となって、事業の実施・推進状況の把握、新たな事業展開の検討を進めていきます。